

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【道後中学校】

＜第1学年：事前復興＞

第1学年では事前復興について学んだ。調べ学習を通し、大規模な災害が起こる前に、発生し得る事態を想定し、発災後の応急対応や復旧・復興に必要な体制をあらかじめ整備・構築しておくことが大切であることを学んだ。また、文化祭では、事前復興に対しての自分なりのアイデアを発表した。



【生徒たちのアイデア例】

- ① 「SOSボート」 このボートは大雨や津波などで街が浸水しても数日間生活可能な仮設住宅型ボート。ビニール素材でできていて、空気で膨らませることができる。夜間でもソーラーライトがついているので安心。
- ② 「マグネットハウス」 リニアモーターカーにヒントを得て、家の基礎に強力な電磁石をはめ込み、地震が起きたときだけ電気を流し浮く家。地面が揺れている間は家が浮いているため、家はほとんど揺れない仕組み。建物の倒壊を防ぎ、命を守る。

生徒たちは、学習を通し、柔軟なアイデアを出すことができた。しかし、生徒たちのアイデアは、技術的・経済的な面から実現することが簡単ではないものもあった。しかし、このように一人一人がアイデアを絞り出すことがいづれ街を守り、命を守ることにつながるのだという確信を持った生徒が多い。これからも防災について多くのことを学びたいという意欲を高める活動となった。

SOSボート

説明
 ↳水上仮設住宅
 ↳外→雨などから水をよそは使えない。
 ↳内→空気をいれることで組み立て可能。
 ↳底面→浮いている間に夜間中心。
 ↳壁面→ビニール製のコストが安い。
 ↳ボート→組み立てに時間がかかる
 ↳出入りが大変(はこ)をばうたががある
 ↳移動がむずかしい

マグネットハウス

リニアモーターカーと同じ原理
 家が浮く(揺れている間)

説明
 ↳地面と全ての家に強力な電磁石をはめ込んで地震が揺れている間だけ電気を流す。
 ↳メリット
 ↳揺れを防ぐ
 ↳家具の倒壊を防ぐ
 ↳デメリット
 ↳費用が増える

